

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第10期第2四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社ワイヤレスゲート
【英訳名】	WirelessGate, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役CEO 池田 武弘
【本店の所在の場所】	東京都品川区東品川二丁目2番20号
【電話番号】	03-6433-2045
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレート・マネジメントグループ長 小島 聡
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区東品川二丁目2番20号
【電話番号】	03-6433-2045
【事務連絡者氏名】	取締役コーポレート・マネジメントグループ長 小島 聡
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第9期 第2四半期 累計期間	第10期 第2四半期連結 累計期間	第9期
会計期間	自平成24年1月1日 至平成24年6月30日	自平成25年1月1日 至平成25年6月30日	自平成24年1月1日 至平成24年12月31日
売上高 (千円)	2,562,956	3,346,300	5,500,950
経常利益 (千円)	284,459	365,679	575,891
四半期(当期)純利益 (千円)	254,624	225,174	423,488
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	-	225,174	423,488
純資産額 (千円)	976,965	1,790,436	1,534,034
総資産額 (千円)	1,803,620	2,964,541	2,492,242
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	123.53	91.86	190.48
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	81.81	181.88
自己資本比率 (%)	54.2	60.4	61.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	376,947	383,854	735,980
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	130	6,600	238,294
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	-	31,084	381,660
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,127,656	2,038,524	1,630,186

回次	第9期 第2四半期 会計期間	第10期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	49.52	47.45

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 当社は第9期の期末より連結財務諸表を作成しているため、第9期第2四半期連結累計期間に代えて、第9期第2四半期累計期間について記載しております。
3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
4. 当社は平成24年7月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場しているため、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、新規上場日から前連結会計年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
5. 平成24年5月16日付で、株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
6. 第9期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。なお、当社グループは、前第4四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日～平成25年6月30日）におけるわが国経済は、政権交代による経済政策や金融政策等が好感され、円安・株価上昇が進み、企業収益は大企業や製造業を中心に改善の動きがみられました。また、厳しさが残るものの雇用情勢にも改善の動きがみられ、個人消費は持ち直し、次第に景気回復へ向かうことが期待される気配の中で推移いたしました。

無線データ通信サービスを取り巻く環境につきましては、スマートフォンやタブレット端末の出荷台数は堅調に推移していると見られ、今後も引き続き無線データ通信サービスに対する需要は拡大していくものと思われます。

このような事業環境の下、当社グループは、主力のワイヤレス・ブロードバンドサービスの新規会員獲得に注力し、当第2四半期連結累計期間におけるワイヤレス・ブロードバンドサービスの会員数は約38万人となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は3,346,300千円、営業利益は365,942千円、経常利益は365,679千円、四半期純利益は225,174千円となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。サービスごとの取組みは以下のとおりであります。

ワイヤレス・ブロードバンドサービス

イ．公衆無線LANサービス

家電量販店において積極的な告知活動を行うとともに、携帯電話販売店における取扱いを段階的に拡大させる等、新規会員の獲得に力を入れてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における公衆無線LANサービスの売上高は407,356千円となりました。

ロ．モバイルインターネットサービス

新規会員の更なる獲得を図るべく、家電量販店における積極的なキャンペーンの展開やインターネット上での販売促進に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットサービスの売上高は2,931,906千円となりました。

ワイヤレス・プラットフォームサービス

6月より、ワイヤレスゲートWi-Fiのオプションサービスとして電話リモートサービスを開始する等、ワイヤレス・ブロードバンドサービスの基盤プラットフォームを活用した新しいサービスの展開に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるワイヤレス・プラットフォームサービスの売上高は6,554千円となりました。

その他

「ヨドバシカメラ@wig card（プリペイドカード）プラン」の販売等になります。当第2四半期連結累計期間は482千円の売上高となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は、前連結会計年度末に比べ472,298千円増加し、2,964,541千円となりました。これは主に売上高の増加に伴い現金及び預金並びに売掛債権が479,782千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ215,896千円増加し、1,174,104千円となりました。これは、主に買掛金が98,072千円、未払法人税等が126,603千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ256,402千円増加し、1,790,436千円となりました。これは四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が225,174千円増加したこと、新株予約権の行使により資本金、資本準備金がそれぞれ15,614千円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ408,337千円増加し、2,038,524千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは383,854千円の収入となりました。この主な要因は、資金減少要因として、売上の増加に伴う売上債権の増加71,444千円が発生した一方で、資金増加要因として、仕入債務の増加98,072千円が発生したこと、並びに税金等調整前四半期純利益365,679千円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは6,600千円の支出となりました。これは、サーバ等の取得による支出2,566千円、及びソフトウェアの取得による支出4,034千円が発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは31,084千円の収入となりました。これは、新株予約権の行使に伴う株式発行収入31,084千円が発生したことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,200,000
計	7,200,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,483,900	2,493,900	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数100株
計	2,483,900	2,493,900	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	43,000	2,483,900	15,614	825,855	15,614	765,245

(注)1. 新株予約権の行使による増加であります。

2. 平成25年7月1日から平成25年7月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が10,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ3,500千円増加しております。

(6)【大株主の状況】

平成25年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社ヨドバシカメラ	東京都新宿区北新宿三丁目20番1号	354,100	14.26
日本スタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町二丁目11番3号	258,400	10.40
池田 武弘	神奈川県横浜市港南区	142,700	5.74
藤沢 昭和	東京都渋谷区	100,000	4.03
資産管理サービス信託銀行株式会社	東京都中央区晴海一丁目8番12号 晴海アイ ランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟	94,100	3.79
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社	東京都中央区晴海一丁目8番11号	78,800	3.17
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オム ニバス アカウンド (常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島四丁目16番13号)	75,000	3.02
ステート ストリート バンク アン ド トラスト カンパニー 5 0 5 0 4 1 (常任代理人 香港上海銀行東京支 店カスタディ業務部)	12 NICHOLAS LANE LONDON EC4N 7BN U.K. (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	70,000	2.82
坂巻 和彦	千葉県市原市	50,000	2.01
ピクテアンドシーヨーロッパエス エー (常任代理人 株式会社三井住友銀 行)	15A, AVENUE J.F.KENNEDY L-1855 LUXEMBOURG (東京都千代田区大手町一丁目2番3号)	49,200	1.98
計	-	1,272,300	51.22

(注) 1. 上記の所有株式数のうち、信託業務にかかる株式数は次のとおりであります。

日本スタートラスト信託銀行株式会社 258,400株
資産管理サービス信託銀行株式会社 94,100株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 78,800株

2. フィデリティ投信株式会社から、平成25年2月22日付で大量保有報告書の提出があり、平成25年2月15日現在で次のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
フィデリティ投信株式会社	東京都港区虎ノ門四丁目3番1号 城 山トラストタワー	128,300	5.26

3. D I A Mアセットマネジメント株式会社及びその共同保有者2社から、平成25年6月5日付で大量保有報告書の提出があり、平成25年5月31日現在でそれぞれ次のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
D I A Mアセットマネジメント株式会社	東京都千代田区丸の内三丁目3番1号	83,200	3.40
ダイヤモンド シンガポール ピーティーイー リミテッド	2 Shenton Way, #12-01 SGX Centre 1, Singapore 068804	26,500	1.08
ダイヤモンド アセット マネジメント (ホンコン) リミテッド	Suites 1221-22, Two Pacific Place, 88 Queensway, Hong Kong	18,000	0.74

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,482,600	24,826	-
単元未満株式	普通株式 1,300	-	-
発行済株式総数	2,483,900	-	-
総株主の議決権	-	24,826	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

なお、前連結会計年度より連結財務諸表を作成しており、前第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）は四半期連結財務諸表を作成していないため、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フローに係る比較情報は記載しておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連

結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,630,186	2,038,524
売掛金	525,004	596,449
その他	30,245	29,165
貸倒引当金	3,128	3,563
流動資産合計	2,182,308	2,660,575
固定資産		
有形固定資産	69,916	61,634
無形固定資産	11,510	12,981
投資その他の資産	228,507	229,349
固定資産合計	309,934	303,965
資産合計	2,492,242	2,964,541
負債の部		
流動負債		
買掛金	736,649	834,721
未払法人税等	25,478	152,081
その他	190,181	181,356
流動負債合計	952,309	1,168,159
固定負債		
資産除去債務	5,899	5,944
固定負債合計	5,899	5,944
負債合計	958,208	1,174,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	810,241	825,855
資本剰余金	749,631	765,245
利益剰余金	25,838	199,335
株主資本合計	1,534,034	1,790,436
純資産合計	1,534,034	1,790,436
負債純資産合計	2,492,242	2,964,541

(2) 【 四半期連結損益及び包括利益計算書 】
【 第 2 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 1月 1日 至 平成25年 6月30日)
売上高	3,346,300
売上原価	2,315,329
売上総利益	1,030,970
販売費及び一般管理費	665,028
営業利益	365,942
営業外収益	
受取利息	5
その他	4
営業外収益合計	10
営業外費用	
株式交付費	143
為替差損	129
営業外費用合計	273
経常利益	365,679
税金等調整前四半期純利益	365,679
法人税、住民税及び事業税	148,301
法人税等調整額	7,797
法人税等合計	140,504
四半期純利益	225,174
四半期包括利益	225,174
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	225,174

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成25年1月1日
至平成25年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	365,679
減価償却費	11,961
貸倒引当金の増減額(は減少)	435
受取利息	5
株式交付費	143
売上債権の増減額(は増加)	71,444
仕入債務の増減額(は減少)	98,072
その他	315
小計	404,526
利息の受取額	5
法人税等の支払額	20,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	383,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	2,566
無形固定資産の取得による支出	4,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	31,084
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,084
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	408,337
現金及び現金同等物の期首残高	1,630,186
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,038,524

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
支払手数料	478,717千円
貸倒引当金繰入額	435千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	2,038,524千円
現金及び現金同等物	2,038,524千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	91円86銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	225,174
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	225,174
普通株式の期中平均株式数(株)	2,451,385
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	81円81銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	-
普通株式増加数(株)	300,993
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、平成25年7月19日開催の取締役会において、平成25年9月1日を効力発生日とした株式分割の実施を決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めると共に、投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成25年8月31日(土)(当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には平成25年8月30日(金))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式の分割前の発行済株式総数	2,483,900株
今回の分割により増加する株式数	2,483,900株
株式分割後の発行済株式総数	4,967,800株
株式分割後の発行可能株式総数	14,400,000株

(注) 上記発行済株式総数は、新株予約権の行使により株式分割の基準日までに増加する可能性があります。

(3) 日程

基準日公告日 平成25年8月16日(金)
基準日 平成25年8月31日(土) 実質的な基準日は平成25年8月30日(金)
効力発生日 平成25年9月1日(日)

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	45円93銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	40円91銭

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 9日

株式会社ワイヤレスゲート
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中川 一之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥見 正浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワイヤレスゲートの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワイヤレスゲート及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。